

京都学生広報部による「大学のまち京都」プロモーション事業に関する業務委託仕様書

1 委託業務名

京都学生広報部による「大学のまち京都」プロモーション事業業務委託

2 事業の目的

2015 年度に発足した京都学生広報部では、京都で学生生活を送る大学生を情報発信の担い手として、日々の生活で体感している京都の魅力、京都の大学で学ぶ魅力について、学生の目線で広く発信することにより、大学進学を検討する全国の中高生や保護者に「京都で学びたい、学ばせたい」と考えるきっかけを作り、京都の大学への進学につなげることを目的に活動に取り組んでいる。

本事業は、民間事業者等の広報に関する知見や専門性を活かし、京都学生広報部のウェブサイト(コトカレ) 及び SNS において、効果的な情報発信を促すとともに、その質的向上を図ることを目的とする。

また、活動に参画する学生に対し、異なる大学の学生との交流や地域活性化について考える機会等を提供することにより、活動を通じた学生の成長にも寄与するものとする。

3 現状の課題及び目指す方向性

京都学生広報部が発足して 10 年が経過し、記事のテーマの固定化をはじめ、記事掲載数の減少、それに伴うウェブサイト閲覧数の減少など、発信力が低下傾向にあることが課題となっている。

今後は中高生にとってより身近な情報発信ツールである SNS をより効果的に活用するとともに、京都学生広報部の活動の根幹である記事の発信力を強化するため、全国の中高生や保護者が興味を持つことのできる記事テーマの発掘や記事の質の向上を図りたい。

4 委託期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

5 委託業務内容

京都学生広報部員の活動のサポートを行うメンターを 1 名配置し、専門的な知見を活かし、事業全体の進行管理、リスク管理、課題分析及び改善提案を行うとともに、部員の広報スキル向上に資する研修、大学進学を検討する全国の中高生や保護者向けに、京都で過ごす大学生活の魅力をより効果的に発信するための企画・提案を行う。また、京都学生広報部員の成長に資するよう、一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな伴走支援を行うものとする。

(1) 京都学生広報部の活動支援

ア メンターによる部員の育成と伴走支援

- ・ メンターは部員と活動目的をしっかりと認識共有し、全国の中高生や保護者に対して訴求力の高い情報発信を行うために効果的かつ実効性の高い企画・立案を行うとともに、それを部員が確実に実行することができるよう、部員の育成と伴走支援を行うこと。
- ・ メンターは部員の活動に関する相談にきめ細かに対応し、活動を通じて部員が成長することができるよう、一人ひとりの個性や悩みに寄り添った丁寧なサポートを行うこと。
- ・ メンターは部員一人ひとりの主体性を伸ばし、京都学生広報部が共通の目的のもとに自律的に活動することができるよう、チームビルディングを行うこと。

イ ミーティング（編集会議）の実施

- ・ 部員とのミーティングを月 2 回（場所：キャンパスプラザ京都、時間：19 時から 21 時）以上実施すること。
- ・ ミーティングでは、メンターが部員に対して、記事の年間計画、企画内容、制作進行・役

割分担、編集について実践的な指導・助言、進捗管理を行うとともに、掲載する記事の添削・助言などフォローアップを行うこと。

- ・ また、活動に対する学生のモチベーションや成果の質を高めるとともに、京都学生広報部ウェブサイト（コトカレ）及びSNS（Instagram・X）の閲覧数向上等に必要な取組を認識共有するため、ミーティングにおいて、ウェブサイト及びSNSのインプレッション数やリーチ数、エンゲージメント率等アナリティクスのフィードバックを行うなど、振り返りを実施すること。

ウ 研修の実施

- ・ 部員が自律的に取材・発信できる力を養成するとともに、メディアとしての質を担保するため、年間を通じて、記事作成に関する研修（ライティング、写真撮影、SNS活用、取材方法、編集・校正などの能力を高めるもの）を体系的に複数回行うなど、部員に対して広報スキルを学ぶ機会を提供すること。
- ・ 上記の研修とは別に、外部講師を招き、京都学生広報の一員として部員の意識を高め、活動に取り組むうえで役立つ研修を年2回以上実施すること。

エ ウェブサイト（コトカレ）における効果的な記事内容・企画の提案及び記事執筆の支援

- ・ 京都の大学や大学生活について、学生としての視点を活かしつつ、コトカレの主なターゲット層である全国の中高生やその保護者の興味・関心を引く訴求力のある記事内容や取材先の提案を行うこと。
- ・ 取材先と連絡調整を行い、必要に応じて部員の取材に同行し、質の高い取材を行うことができるようサポートすること。
- ・ 部員が執筆した記事を校正し、発信するにふさわしい質の記事となるよう指導を行うこと。
- ・ コトカレの公開記事数は月5本を目安とし、目標達成に向けた支援や調整を行うこと。
- ・ コトカレ内の記事の閲覧状況を分析し、月間30,000PV以上の維持、1,000PV超の記事を月1本以上創出することを目安とし、目標達成に向けた支援や調整を行うこと。

オ SNS（Instagram・X）における効果的な情報発信・企画の提案

- ・ SNSでの情報発信を強化することにより、京都学生広報部及びウェブサイト（コトカレ）の知名度向上につなげるため、年間300人以上のフォロワー純増を目安に、話題性、拡散力のある投稿企画改善点を提案し、実施すること。
- ・ SNSの投稿数は各々月15件以上を目安とし、発信に向けた支援や調整を行うこと。
- ・ 部員が効果的にSNSを活用することができるよう、指導・助言を行うこと。

カ 中高生向け広報戦略に関する意見提案

- ・ コトカレなど既存媒体の有効性を含め、本市の大学への進学を志す中高生にとって効果的な広報手段について、広報戦略全体の観点から提案・助言を行うこと。

キ 京都学生広報部の運営支援

- ・ 京都学生広報部への入部を希望する学生に対して、メンターが面談を行い、活動主旨をしっかり説明したうえで入部を決定すること。
- ・ 活動全体の円滑な運営に関する支援（事務局（京都市及び大学コンソーシアム）との定例打合せ（月1回以上、議事録作成、スケジュール管理等）を行うこと。
- ・ 学生リーダーと事務局との円滑な運営体制を確保するため、リーダー会議（原則として月1

回程度) を実施すること。

(2) 京都学生広報部ウェブサイト (コトカレ) の運営及びSNS運営

ウェブサイト及びSNSの運営を以下のとおり行うこと。

ア データの定期的なバックアップなどのセキュリティを含め、ウェブサイト (サーバー、ドメイン) の保守、管理を行うこと。

なお、軽微なデザインや構成の追加・修正・変更は、あらかじめ保守費用に含め、保守・運用の中で対応すること。

イ SNS フォロワー数向上の施策を行い、エンゲージメントを増加させる施策を提案・実施すること。

(3) 活動報告書の作成及び提出

京都学生広報部の活動をはじめ、ウェブサイト及びSNSの現況について、以下に掲げる内容を含む活動報告書を作成し、電子データを公益財団法人大学コンソーシアム京都の京都学生広報部事務局に納品すること。活動報告書は、令和8年4月分から令和9年3月分までを毎月1回報告するものとする。

ア 活動報告書の内容

月2回実施する部員とのミーティング (編集会議) に出席し、下記内容を報告すること。

(ア) 対象月における部員の活動及び相談内容

参加人数、主な活動内容、部員から提供される記事の分野別本数、部員の取組姿勢、課題等

(イ) 研修・イベントの実施報告

日時、参加人数及び一覧、内容、効果・課題等

(ウ) ウェブサイト及びSNS解析結果の分析及び効果的な方策等の提示

閲覧数、閲覧者の属性、地域等を検証・分析し、閲覧数増に向けた効果的な方策・手法を提示すること。

イ 提出期限

各月の翌10日までに提出すること。

6 その他

成果物に係る権利は、公益財団法人大学コンソーシアム京都及び京都市に帰属するものとする。